

# 薬剤科より お薬の服薬について

薬剤科課長代理 美濃部 勝哉

明けましておめでとうございます。今年も何卒宜しくお願致します。薬剤科の美濃部です。今回は服薬における注意点・お薬の飲み方について説明したいと思います。

まず、インターネットなどで調べると「内服薬（飲み薬）」とは錠剤やカプセル剤、粉薬、水薬などの飲み薬で、飲んで胃腸から吸収させて効果を期待する薬」とあります。そのお薬について、いくつかの疑問にお答えしたいと思います。

## 「食前、食後、食間はいつ？」

食前とは薬を飲んで30分ぐらい空けてから食事をして下さい。これは漢方薬や糖尿病薬など胃の中に入っている食べ物と薬が混ざってしまうと、効果が弱まってしまうためです。食後とは食後30分以内に薬を飲んで下さい。胃に入った食べ物は大体30分ぐらいかけて徐々に消化されていきますので、この間に飲みましょうという意味です。食間とは食事をしてから大体2時間を経過してから飲んで下さい。漢方薬などの食事の影響を受けやすいものが多いです。用法用量を守って下さい。間違えると薬の効果が期待出来ません。

## 「薬は水なしで飲んでいい？」

カプセル剤や錠剤がのどや食道に貼りついた場合、その部分の粘膜を痛めてしまうことがあります。また、薬は水に溶けることで吸収が良くなります。コップ1杯（約200ml）の水かぬるま湯で飲んで下さい。また、水以外の飲み物と一緒に飲むと、薬の成分が飲み物の成分と作用しあつて、予期しないトラブルが起きることがありますので、必ず薬剤師などに確認して下さい。

「錠剤を砕いたりカプセルの中身だけを取り出して飲むと効き目がよくなる。」

効果を最大限に引き出すため、薬には様々な工夫が施されています。例えば1日1錠タイプの場合、錠剤が何層にも分かれているのが一般的です。一番外は胃の中の酸で溶けないようにするためのコーティングされていて、内側に行くほど溶けにくい成分になっています。こういった工夫により成分は外側からゆっくり溶けだし、薬の効果が長く続きます。薬を砕いたりしてしまつと、その効果が台無しになってしまいます。

## 「子供には大人用を半分に分けて飲ませても大丈夫？」

子供に処方される薬は大人と違い、種類が決まっています。また、大人の薬には子供に飲ませてはいけない成分が入っているものもあります。大人の薬を割つたり、少量だからといって子供に飲ませるのは絶対にやめてください。また、子供の手の届かない所で保管してください。

以上、いくつかの疑問にお答えさせて頂きました。まだまだ色々疑問があるかと思いますが、その場合は我々薬剤師に質問して下さい。説明させて頂いた事を守り、健やかに過ごして下さい。

## 新人紹介

この度、マキノ病院に入職いたしました新しいスタッフです。皆様方の温かい御支援よろしくお願いたします。



ケアワーカー 宮川 将成



理学療法士 宮野 樹

## 感染予防について

皆様、新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。

2019年12月に中国で初めて報告された新型コロナウイルス感染症、昨年の5月8日から「5類感染症」に感染症法上の位置づけが変更になりました。現在では、人々はマスクを外し以前のように街を行きかい、屋内、屋外問わず買い物や、娯楽などに興じられています。また、マスクを着用され感染対策を続けておられる方等、個人のお考えでそれぞれが快適に生活を送れるような社会が進んでいるように感じられます。

さて、コロナ禍の約4年間、手洗い、マスクなどの予防策を国民皆で行っていましたが、それでも新型コロナウイルス感染症は、なかなか抑え込むことが出来ず流行期を繰り返し、各所でクラスターを引き起こす非常に感染性の強いウイルスであったと思えます。しかしながら、その間、感染性の劣る他のウイルスなどが引き起こす感染症などはほとんどなく、手洗い、うがい、マスクの着用など感染予防の徹底が非常に強力だと思えます。

このような経験を得た我々ですが、昨年の感染症発生事例を見るといつもとは異なる状況であったようです、例

年、インフルエンザは12月に流行入りし、1〜2月にピークを迎えその後収束に向かうことが多いのですが、2023年度は厚労省によると、6月25日時点（25週）の定点医療機関当たりの患者は1.2人で、流行の目安（1人）を依然上回っており、6月でも流行が続いている異例な状況でした、また各地で休校、学級閉鎖などの集団発生も報告されています、特に8月14日（33週）からは報告数が増え、今に至ります、今期の本格的なピークはこれからだと思われるため、より一層の用心が必要です。

他には、アデノウイルスによる急性ウイルス性感染症、溶連菌、ヘルパンギーナ等も、警報レベルを超えるような状況が報告され、気の抜けない日々が続いていますが、アデノウイルス、インフルエンザともに、流水と石けんによる手洗いやうがい、マスクの着用、咳エチケットなど基本的な対策が有効であり、睡眠、食事といった普段の健康管理や、適度な湿度を保つなど、いままでやってきた基本的な予防策を心がける事が我々の健康保持にとって大切です。

相手は目に見えませんが、対策を続けて感染症を予防しましょう！

中央検査科課長代理

長濱 雅

## 三日月大造滋賀県知事より 感謝状をいただきました

このたび、新型コロナウイルス感染症患者様の受け入れ対応について、感謝状を賜りました。患者（ご家族）様、連携医療機関様、高島保健所（県当局）様、自院職員等、関係各位のご理解、ご協力あつてのものとしより感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 小児予防接種の予定（1月・2月）

	混合ワクチン・麻疹風疹混合・BCG・日本脳炎・ポリオヒブ・肺炎球菌・子宮頸がん・水痘・おたふくかぜ・ロタ				
	受付・接種時間：13時～ 16時～16時30分				
1月	5日(金) 26日(金)	9日(火)	12日(金)	19日(金)	23日(火)
2月	2日(金)	6日(火)	9日(金)	16日(金)	20日(火)

御予約は接種日の前々日まで受け付けています。  
予約電話番号：（0740）27-0101  
電話受付時間：毎週月曜～金曜日の正午から17時まで

テーマ

## 『糖尿病』

## 健康教室のご案内

### 開催についてのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1月・2月の開催は中止といたします。

～当院では生活習慣病などを学びたい方のために『健康教室』を開催しています。～

場所：2階図書室

どなたでも自由にご参加できます。（入場無料）

※ 3月以降の開催は未定